



ロータリーの未来は
あなたの手の中に

Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創 立：1980年(昭和55年)1月10日
 会 長：増田 盛英
 幹 事：高木 勝
 クラブ委員長：岩崎 道夫
 例 会 日：毎週木曜日PM12:30~
 会 場：ヒルトン名古屋
 事 務 局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3
 ヒルトン名古屋910号
 T E L：052-211-3803
 F A X：052-211-2623
 M A I L：2760nagoya@mizuho-rc.jp
 U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

2009~2010年度
 国際ロータリーのテーマ
 ロータリーの未来はあなたの手の中に
 2009~2010年度
 RI会長 ジョン・ケニー

第1450回例会

～識字率向上月間～
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2010年3月11日(木) 晴 第33回

司 会：市岡正蔵会場委員
 点鐘前に中川啓二郎さんに対して黙禱
 斉 唱：「我等の生業」「台湾国歌」

会長挨拶

増田盛英会長

悲しいご報告があります。会員のの中川啓二郎さんが3月4日6時19分にご逝去されました。中川さんのご逝去を悼み黙禱をしたいと思います。(黙禱)

ご挨拶を致します。先ほどは中川氏に黙禱していただきありがとうございます。

本日、田中政雄副会長、高木幹事と私の3名でお悔やみにお邪魔してまいりました。奥様はお留守でしたが、ご子息とお会いしてまいりました。

まず3月1日に腰の痛みがひどくなり坂文種病院に緊急入院されたそうです。翌日2日に病院内で転んで頭を打ち、検査をしたところ、脳には異常がなかったものの心臓がかなり弱って肺にも水がたまっていることが判りました。3日には良くなってほっとしていたところ、4日の朝突然容態が悪化して6時19分に帰らぬ人となりました。

中川さんは、1980年(昭和55年)1月10日入会のチャーターメンバーです。中川さんと私の思い出は沢山あります。1991年～92年度に私は会場委員長を仰せつかっております。実はその時、中川さんを会場委員にしてくださいと当時の近藤雄亮幹事をお願いしました。そのころは、会長挨拶のときに私語が多かったのです。そのため会場委員が「お静かに」と言う看板を私語をしている会員に掲げるのです。私たち若手の会員がそれをしてもあまり効果がありませんでしたが、中川さんにお任せしておくとな非常にスムーズに行きました。また、今でもそうですが、会場委員会では委員長が毎回の例会の司会を決めます。私もそのように致しました。しかし、中川さんは司会を担当する当日に「増田君、今日は行けなくなったので、司会の方はよろしく頼む」との電話をかけてきたことが数回ありました。私は、中川さんは大先輩であり色々とお世話になっているので仕方ないかと諦めておりました。ところが、年が明けて2月頃に「おい、増田君今までの借りは返すよ」とおっしゃってなんと5回～6回連続して司会進行をしてくれたのです。当時の副委員長の館さんと2人で、こんなことがあるのかと驚いた次第です。本当に、芯はまじめで義理堅い方だと思いました。そして夜の懇親会には、必ずボジョレのピラージュ赤ワインを2本持参して、1本は自分が飲む分、もう1本は会員の方に飲んでいただく分と、ここでも大変気を遣われる方でありました。



お葬式は親族での密葬でした。4月9日(金)13時より一柳中央斎場において「お別れの会」が行われます。

さて、今日の卓話は松井直前会長に、福岡西RC所属RI第2760地区バスターガバナーの廣畑富雄氏の著書「ロータリーの心と原点を読んで」とのタイトルでお話をいただきます。既にお読みになった会員も多いと思いますが、楽しみにお聞きいただきたいと思ひます。

幹事報告

高木 勝幹事

- ・本日13時40分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第9回理事会を開催致します。
- ・3月13日(土)、14日(日)に第22回全国ローターアクト研修会が開催されます。会場は13日(土)がウエスティンナゴヤキャッスル、14日(日)が愛知県産業労働センター(ウインクあいち)となります。
- ・3月15日(月)台北延平RC33周年記念式典が開催されます。
- ・次週3月18日(木)18時よりヒルトン名古屋4階「桜の間」において第1451回例会及びI.D.M.を開催致します。
- ・台北延平RC子女ホームステイ時の費用をニコボックスより634,084円拋出致しました。

出席報告

梅村昌孝出席副委員長

会員69名 出席52名 (出席計算人数53名)

出席率 86.9%

3月 4日は補填により 93.5%

委員会・同好会報告

国際奉仕委員会：堀 慎治委員長

- ①3月15日(月)の台北延平RCの33周年記念式典に、増田会長をはじめ会員13名、家族7名の総勢20名で出席してまいります。
- ②名古屋姉妹友好都市協会より「名古屋・ロサンゼルス姉妹都市提携50周年記念プレート及びフェスティバル」についてご案内が届いております。3月26日(金)15時30分開始で16時からミュージックフェスティバルが開催されます。詳しくは事務局までお問い合わせください。

親睦活動委員会：平野好道委員長

4月11日(日)に春の家族会を開催致します。今年はヒルトン名古屋で昼食をとったあと劇団四季の「オペラ座の怪人」を観劇する予定です。お申し込みいただいた方の中からキャンセルが出たため、現在9名分空きがございます。参加者は原則会員と家族の方となっておりますが、きっとどこかで誰かは親戚筋であろうと思ひますので広くお誘いいただければと思ひます。観劇だけでも構いませんので、たくさんの方のお申し込みをお待ちしております。

- ・南山大学外国語学部4年生の孫が卒業生副総代に決まったとの通知が大学から来ました。 **鈴木 圓三さん**
- ・暖かくなりました。桜は咲いたかなアーー。 **内田 久利さん**
- ・中川さんが3月4日に亡くなられました。心よりご冥福をお祈りいたします。 **増田 盛英さん**
- ・3月25日は私の結婚記念日です。ちなみに3月25日は日本で初めて電灯が灯った電気記念日でもあります。皆さんご夫婦ご円満で行きましょう。 **梅田 朋嗣さん**
- ・今月は結婚記念日です。 **渡辺喜代彦さん**
- ・3月16日は家内の誕生日です。 **森 恒夫さん**

卓話

松井善則さん

「ロータリーの心と原点」を読んで



今回私はこの「ロータリーの心と原点」という本を4度ほど読み返しました。その中で私が賛同したこと、そうだなと思ったことを主観のみでお話させていただきたいと思います。「ロータリーの心」と言うのが難しく感じますが、これはロータリーの考え方と解釈してよいと思います。ロータリーが発足した当時の状態

が本題となります。

ロータリーは当初たった4人で始まりましたが100年経った今では120万人の大きな組織となりました。それも、創始者の方の強烈な精神とロータリーの基本があったおかげでしょう。しかし残念ながら近年ロータリーは多くの問題を抱えるようになりました。ロータリーの基本原則に「ロータリーは友人の集まりである」というものがあります。つまり知人の集まりではないということです。お互いの温かい友情がロータリーの全ての基本です。その友情の1つの例として、昔ある会員の方が自分の妻に「もし自分が死んで、誰かに助けを求めるとしたらロータリークラブを訪ねなさい」と話したそうです。このロータリーの心は今でも生きていなければなりません。

そして基本原則のもう1つは「サービス」です。日本語訳ではクラブ奉仕委員会にも社会奉仕委員会にも「奉仕」という言葉が使われておりますが「仕え奉る」では「サービス」の正しい訳ではない、と書かれています。サービスとは広く人のためになること、例えば電車で席を譲ることや家庭で奥さんに思いやりのある態度で接することであり、これを奉仕と言ってしまおうと違う意味のものになってしまいます。また「クラブ奉仕」とは例会に100%出席することやクラブ行事に必ず参加すること、また事務局からの案内に対しても早くきちんと返事をして督促の手を煩わせないことや、ロータリーに相応しい友人を紹介することなどもクラブのためになる行為のことで、これも全て「サービス」です。人間は孤独な生活のできない、集団で生きる動物です。人と人との関係が出来れば自分の都合ばかり通してはいけませんし相手のために役立つということを考えなくてはなりません。役立つこと、それがすなわちサービスではないでしょうか。ロータリーはサービスを以て人間活動の根本理念にしたいと考えています。この本の中に「サービス」を「忠恕」と訳するのが適当ではないかと書かれています。今ではあまり使われていませんが論語にある言葉で、誠実で相手への思いやりが深く、自分の良心に忠実であ

ることを示します。

ロータリーの創立者シェルドンは「サービスというのは世のため人のためになると同時に事業を反映させ、そして本人の幸せにも至る道である」と言っています。さて、今はvocational serviceを「職業奉仕」と訳していますが、これを正確に訳すと「天職に通じた人・行為」となります。世の中のためになるサービスであるという意味がふくまれているのです。シェルドンはスピーチの中で「例えば、世界中の靴屋とそれに関連する製造器具や機械を造る図面が一箇所に集まり、それが突然の災害ですべて無くなってしまったら、靴がなくなってしまい社会は靴屋がいかに役立っていたかを理解するでしょう」と言っています。世の中のマイナスになる職業以外の一般的な職業は、どんな仕事であっても職業を通じて世のため人のためになる。それがロータリーの職業奉仕の考え方です。

ロータリーの魅力は心と原点を再確認し基本にかえることで得られると思います。そしてその基本として、(1)ロータリークラブは知人の集まりではなく友人の集まりであること(2)サービスの心を大切にすること(3)ロータリーの目的(綱領)と四つのテストを大切にすること(4)1業種1人の伝統を出来るだけ大事にすること(5)クラブの民主化を大切にすること(6)どんなプログラムも原点に戻り見直しとスクラップ・アンド・ビルドをすることです。どんな活動も各ロータリークラブが基礎ですから、これを一番大切に、上で決定したことを全部飲み込むのではなく必要なものだけセレクトしていくべきであると書かれており、私もそう思います。

さて、ロータリーでは会員間の友情が全ての基本ですが、最近サイバークラブというインターネット上のクラブができました。パソコン上の会員で本当に友情が生まれるのでしょうか。この制度は試験的だそうですが、ロータリーの本質に反するものだと思いますし廃止するべきだと思います。サイバークラブでは5分ほどで簡単にメイクアップができます。RIの事務局はこのようなクラブを提案すべきではないしRIの理事会はそれを承認すべきではありません。名古屋西分区にも1つできましたが私は反対です。9月から1月の出席率の平均58.82%という低い数字を見て、つくづくそう思いました。ちなみに名古屋西分区は90%以上という全国で1位の出席率を誇っております。また、著者が所属する第2700地区は2位で、会員の減少は一番少ないのだそうです。サイバークラブは、ロータリーの魅力である「FACE TO FACE」を崩してしまうものです。ロータリーの未来のため、一度原点に立ち戻る必要があります。

今回この本を読みながら自分自身の心の原点は何であったかと色々考えさせられました。ありがとうございました。

例会のご案内

■本日の行事 3月18日(木) 第1451回例会及びI.D.M.

場 所：ヒルトン名古屋4階「桜の間」
時 間：18:00～20:15

■次週卓話 3月25日(木)

卓話講師：財団法人 日本エネルギー経済研究所
研究主幹 平井晴己さん
テ ー マ：中東の石油事情

■次々週予定 4月1日(木)

R規定に基づき休会

■次回卓話 4月8日(木)

会員卓話：30周年記念実行委員会メンバー
テ ー マ：30周年記念事業について